鼓ヶ浦小学校だより

鼓ヶ浦キッズ

学校教育目標:「知・徳・体 調和のとれたこどもの育成」

～学校が楽しい、明日も来たいと思える学校～

令和8(2026)年10月13日(火)No.16

令和8年度全国学力・学習状況調査について

4月に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

この調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」ことを目的としています。

次の表が、令和8年度の平均正答率の一覧です。

(%)

	国語	算数
鼓ヶ浦小	※	※
全国	60.9	56.4

今回の結果を受けて、職員で分析を行いました。

国語科では、比喩や反復等の表現の工夫や理由や事例等の工夫に気づく力は身についているようです。一方で、必要に応じた情報を読み取ったり、情報と情報を関連づけて理解したりすることが苦手なようです。また、文章全体の構成を考えて書いたり、自分の考えをまとめて書いたりすることに弱みがみられました。いわゆる「書く」力に課題がみられました。今後は、こども一人ひとりに合わせて基礎基本の定着を図るとともに、日記等、低学年から系統的な「書く」指導に取り組んでいきます。あわせて、普段の授業でのふりかえり等で日常的に「書く」ことも進めていきます。



算数科では、小数の仕組みや数直線の読み取り、平面図形の性質については理解できています。しかし、国語科でもみられたように、理由を説明して書く力に課題がみられました。また、割合についても理解できていないところがみられました。この結果から、具体的な生活の場面を想起させて考えさせることで概念を理解したり、基礎的な問題から

応用問題まで合わせて取り組んだりするなどの学習を進めていきます。また、問題の意図や立式したものを説明させたり、文章で書かせたりする活動にも取り組んでいきます。

これらの結果をうけて、6年生だけでなく、それぞれの学年の発達段階に合わせた指導に心がけていきたいと考えています。

【児童質問紙調査に関わって】

児童質問紙調査の結果からは、国語科と算数科において、「勉強は、得意ですか」・「授業の内容がよくわかりますか」の項目において全国平均より低い傾向がみられました。また、「自分の考えをまとめる」・「考え方を説明する」の項目ついても低い傾向がみられました。前述したように、自分の考えを整理して表現すること（説明したり、文章にまとめたりすること）への課題に関係していると考えられます。



「学習したことは、将来、社会に出た時に役立つ」と感じているこどもの割合も低い傾向がみられました。

こどもたちが主体的に学習に向きあえるように、学習の見通しをもたせた授業を意識し、こどもたち一人ひとりの実態を把握して一人ひとりにあわせた指導法を考えて取り組んでいきたいと考えています。個別最適な学びとペア・グループ等での学習を状況にあわせて取り入れるとともに、ICTも活用してより効果的な学習と「書く」ことを意識した教育活動に取り組んでいきます。

また、平日は家庭やそれ以外の場所で学習している時間の割合は高い傾向がみられましたが、休日になると低くなるようです。ご家庭でも読書の取り組み等、普段からいろいろとご協力いただいておりますが、引き続き家庭学習へのご理解とご協力をお願いいたします。

次の表は、非認知能力に関する児童質問紙の回答の一部です。

（※否定的回答割合　%）

		鼓ヶ浦小	全国
やりぬく力	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	25.0	19.8
自制心	学級会における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	18.8	21.3
自己肯定感	自分には、よいところがあると思う	12.6	14.1
社会性	人が困っているときは、進んで助けている	6.3	6.5

※「鈴鹿市教育振興基本計画」では、「やりぬく力」・「自制心」・「自己肯定感」の項目は、10%未満、「社会性」の項目は、1.8%未満（それぞれ、否定的回答の割合　）を目標にしています。